

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	都市整備部区画整理課	評価者 (課長)	野満 寛	評価責任者 (部長)	岡村 洋道
事務事業コード	15007	事務事業名	土地区画整理事業	事業の分類	(施設等管理運営事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VI2 快適な都市空間で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	VI22 快適な居住環境の整備	基本方向	地域の歴史や文化など地域特性を生かした快適で安全なまちづくりに向けて、適正な土地利用の規制・誘導や計画的な都市基盤整備を図るとともに、良好な景観の創出・保全を市民とともに推進する。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 土地区画整理事業の推進			【住環境の整備や土地区画整理事業の推進】	33.60%
	推進施策の展開	管理地を適切に管理・整備することで、住環境の快適性と安全性の向上を図る。			25年度市民評価の満足度	【住環境の整備など】 42.10%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 管理市有地内を	意図(どういう状態にしたい): 管理市有地の整備を行い良好な住環境の保全をしたい。	事業の内容 (手段)	区画整理事業が完了した地区内の管理市有地における安心安全を図るための管理事業。(H25～H26年度は、富田中央土地区画整理未完了建物の移転及び道路整備をする。)		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	区画整理事業が完了した区域の管理市有地等を適切に管理した。 (H24年度以降は熊毛地区のマンホールポンプの清掃業務委託を実施) 富田中央土地区画整理未完了建物の移転をし、道路等の整備を完了させた。						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
								直接事業費	千円	147	15,256	184	184	184
事業目標	目標名	細事業実施率	計算式	達成項目/目標項目	単位	%	事業費	(予算額) うち一財	千円	147	15,256	184	184	184
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	16,541	11,055		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	1.0	2.0	2.0	1.0	1.0		(決算額) うち一財	千円	16,541	11,055		富田中央地区未完了建物移転による道路等の整備に伴う増額。	
	実績値	1.0	2.0	2.0				正職員人件費	千円	440	6,656			
	達成度(%)	100.0%	100.0%	100.0%				人工数	人	0.06	0.90	0.10		
								支出コスト	千円	決) 16,981	決見) 17,711			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 熊毛中央土地区画整理管理 (施設等管理運営事業)		管理者が行う管理事業	管理市有地を適切に管理する。	年度毎の管理業務を確実に実施する。	予定管理業務を完全実施し目標を達成した。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	可	否	
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 計画的に事業を進める必要がある。				A	改善案	計画通り事業を進める。					
	② 富田中央土地区画整理管理 (施設等管理運営事業)		管理者が行う管理事業	管理市有地を適切に管理する。	建物移転を行い歩道の整備を行う。	建物を移転し道路の整備を完了した。	0.8		10,904	否	否			
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 効率的な維持管理に努める。(完了)				A	改善案	効率的な維持管理に努める。(完了)						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
	④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	富田中央土地区画整理地内でH25～H26の2ヶ年での管理業務が必要となった。	前年度までの指摘事項	管理方法を検討し、計画的に行われたい。	指摘事項に対する改善状況	効率的な管理方法を検討する。
	細事業の課題・問題点	区画整理事業が完了した地区内の管理地は市内に点在しており、良好な住環境維持のため施設整備の必要性が高くなってきた。		事業全体の課題・問題点		予定通り事業を進める。

所管課評価						
評価	A	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	区画整理事業が完了した地区内の管理市有地等は市内に点在しており、管理不良が住環境を悪化させるので、適切な管理の実施が必要である。	改善案	定期的な安全確認と適正な管理を維持する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	A 適切な管理がされている。 効率的な管理を継続実施する。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	600402
分野	6都市基盤
基本施策	4快適な居住環境の整備
推進施策	(2)土地区画整理事業の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
固定経費であるが、抑制に努める。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	都市整備部区画整理課	評価者 (課長)	野満 寛	評価責任者 (部長)	岡村 洋道
事務事業コード	15008	事務事業名	久米中央土地区画整理一般事務事業	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VI2 快適な都市空間で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	VI22 快適な居住環境の整備	基本方向	地域の歴史や文化など地域特性を生かした快適で安全なまちづくりに向けて、適正な土地利用の規制・誘導や計画的な都市基盤整備を図るとともに、良好な景観の創出・保全を市民とともに推進する。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 土地区画整理事業の推進			【住環境の整備や土地区画整理事業の推進】	33.60%
	推進施策の展開	管理地を適切に管理・整備することで、住環境の快適性と安全性の向上を図る。			25年度市民評価の満足度	【住環境の整備など】 42.10%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 楡浜久米線等の都市計画道路及び区画道路や公園等の公共施設と宅地を	意図(どういう状態にしたい): 一体的整備を行うことにより、家屋の新築や交通の利便性などを高め、経済的な波及効果をもたらされる様にしたい。(事業進捗率H26目標:95.6%)	事業の内容 (手段)	久米中央土地区画整理事業にかかる審議会、評価委員会を開催し区画整理上の諸手続きを進める。地区内施設の維持管理(街路灯の電気使用料、清掃委託料、保険料)。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	審議会1回、評価会1回を開催し区画整理上の諸手続きを進めた。排水施設管理及び街路灯等の維持管理を実施した。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
								直接事業費	千円	4,773	3,856	3,824	2,763	2,763	
事業目標	目標名	公共用地整備率	計算式	整備面積/計画面積	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	4,773	3,856	3,824	2,763	2,763	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	6,760	2,542	対27年度増減理由		対28年度増減理由		
	目標値	62.0	69.0	80.0	90.0	100.0	(決算額)	うち一財	千円	6,760	2,542				
	実績値	62.7	68.0	79.4			正職員人件費	千円	11,354	9,614					
	達成度(%)	101.1%	98.6%	99.3%			人工数	人	1.55	1.30	1.05				
							支出コスト	千円	決) 18,114	決見) 12,156					
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否				
	①	審議会・評価会の運営事務 (経常的事務事業)	審議会・評価会	審議会・評価会の開催運営を行う。	仮換地や保留地予定価格の同意を得て区画整理上の諸手続きを進める。	審議会:1回開催。換地設計について同意を得る。 評価委員会:1回。保留地価格の同意を得る。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	可	否		
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 効率的な開催に努める。						細事業評価								
	②	その他事務 (施設等管理運営事業)	区画整理内の市管理地	排水設備・街路灯等の施設管理を行う。	適切な維持管理等を行う。	排水施設:4ヶ所	0.1		2,461	否	否				
<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 事業実施過程で地権者に土地が渡せず市の管理地の維持管理費が必要となっている。						細事業評価									
						A	改善案	計画どおりに事業を進め、早期完了を図る。							

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成9年から開始した長期の事業である。整備が進み関係者の事業に対する理解が深まり、早期完了を望む意見が増えてきている。一方で少数ではあるが、未だに事業について理解いただけない方がいる。	前年度までの指摘事項	関係権利者との理解を深めて、効率的な整備を進めて管理地の縮小を図る。	指摘事項に対する改善状況	指摘どおり効率的な事務事業に努める。
	細事業の課題・問題点	事業の着地に向け、問題点を避けて進めない状況になりつつある。各権利者との調整を図り、早めの合意形成が必要。	事業全体の課題・問題点	同左		

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	審議会等の開催及び管理地の管理は適正に実施され、事業に支障なく進められている。	改善案	関係権利者との理解を深めて、効率的な整備を進め管理地の縮小を図る。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 審議会等の開催及び管理地の管理は、区画整理事業に係る附随的な経費である。早期の完成を目指し、附随経費の縮減を図って行く。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	600402
分野	6都市基盤
基本施策	4快適な居住環境の整備
推進施策	(2)土地区画整理事業の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
事業を促進し管理地管理料を抑制する。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	都市整備部 区画整理課 新南陽分室	評価者(課長)	伊ヶ崎 大志	評価責任者(部長)	岡村 洋道
事務事業コード	15009	事務事業名	富田西部第一土地区画整理一般事務事業	事業の分類	(経常的事務事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VI2 快適な都市空間で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	VI22 快適な居住環境の整備	基本方向	地域の歴史や文化など地域特性を生かした快適で安全なまちづくりに向けて、適正な土地利用の規制・誘導や計画的な都市基盤整備を図るとともに、良好な景観の創出・保全を市民とともに推進する。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 土地区画整理事業の推進			【住環境の整備や土地区画整理事業の推進】 33.60%	
	推進施策の展開	施行中の事業について、市民の合意形成を図りながら計画的に推進し、早期完成に努める。道路や公園などの都市施設を適切に配置、整備することで快適性と安全性の向上を図る。			25年度市民評価の満足度	
					【住環境の整備など】 42.10%	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 中央通り線等の都市計画道路及び区画道路や公園等の公共施設を	意図(どういう状態にしたい): 健全で災害に強い街をつくり、家屋の新築や交通の利便性などを高め、経済的な波及効果がもたらされる様にしたい。(事業進捗率H26目標:96.4%)	事業の内容(手段)	富田西部第一土地区画整理事業にかかる審議会、評価委員会を開催し区画整理上の諸手続きを進める。 地区内施設の維持管理(電気使用料、草刈業務委託料、保険料)。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績【26年度】	審議会2回、評価委員会1回を開催し区画整理上の諸手続きを進めた。市管理地除草業務32,060㎡等を実施した。						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
									直接事業費	千円	2,504	2,464	2,464	2,088
事業目標	目標名	公共用地整備率	計算式	整備面積/計画面積	単位	%		(予算額) うち一財	千円	2,504	2,464	2,464	2,088	2,464
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		直接事業費	千円	2,105	1,842		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	57.4	65.5	87.1	86.3	100.0		(決算額) うち一財	千円	2,105	1,842		増減無	
	実績値	46.6	67.7	74.5				正職員人件費	千円	2,491	2,958			
	達成度(%)	81.2%	103.4%	85.5%				人工数	人	0.34	0.40	0.40		
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	① 審議会・評価委員会の運営事務 (経常的事務事業)		審議会、評価委員会	審議会・評価委員会の開催運営を行う。	仮換地や保留地予定価格の同意を得て区画整理上の諸手続きを進める。	審議会:H26.5.27、H26.12.3開催。評価委員の選任の同意を得る。評価委員会:H27.2.25開催。保留地予定価格の同意を得る。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	否	否	
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 効率的な開催に努める。				B	改善案	効率的な開催に努める。					
	② その他事務 (施設等管理運営事業)		区画整理内の市管理地	排水施設の管理を行う。清掃・草刈を行う。	排水設備の点検を行う。市管理地の草刈を行う。	草刈面積:32,060㎡を2回実施した。	0.1		1,725					
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 事業実施過程で地権者に土地が渡せず市の管理地の維持管理費が必要となっている。				B	改善案	計画どおりに事業を進め、早期完了を図る。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成5年から開始した長期間の事業である。整備が進み関係者の事業に対する理解が深まり、早期完了を望む意見が増えてきている。一方で少数であるが、未だに事業について理解いただけない方がいる。	前年度までの指摘事項	事業進捗が遅れている。積極的な対応により関係者の理解を得ながら、効率的な実施に努められたい。	指摘事項に対する改善状況	難航地権者と積極的に交渉を継続するとともに、その他の手法についても検討する。
	細事業の課題・問題点	事業の進捗の遅れから地権者に土地が引き渡せず市の管理地の維持管理費が必要となっている。	事業全体の課題・問題点	事業の進捗が少し遅れている。また、現時点においても事業についてご理解いただけない方がいる。		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	審議会、評価委員会は土地区画整理法のとおり実施しなければならない。事業の進捗の遅れから地権者に土地が引き渡せず市の管理地の維持管理費が必要となっているため。	改善案	難航地権者と積極的に交渉を継続するとともに、その他の手法についても検討する。
----	---	--	------	--	-----	--

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	審議会等の開催及び管理地の管理は、区画整理事業に係る附随的な経費である。早期の完成を目指し、附随経費の縮減を図って行く。
----	---	--

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	600402
分野	6都市基盤
基本施策	4快適な居住環境の整備
推進施策	(2)土地区画整理事業の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	
管理用電気使用料及び草刈り等の管理地管理料を抑制する。	

備考

備考	
----	--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	都市整備部区画整理課	評価者 (課長)	野満 寛	評価責任者 (部長)	岡村 洋道
事務事業コード	332008	事務事業名	土地区画整理清算事業	事業の分類	(経常的事務事業) 補助・単独の別 単独 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VI2 快適な都市空間で暮らせる	実施計画	×
	基本施策	VI22 快適な居住環境の整備	基本方向	地域の歴史や文化など地域特性を生かした快適で安全なまちづくりに向けて、適正な土地利用の規制・誘導や計画的な都市基盤整備を図るとともに、良好な景観の創出・保全を市民とともに推進する。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3)土地区画整理事業の推進			【住環境の整備や土地区画整理事業の推進】 33.60%	
	推進施策の展開	精算金を完納させ事業の完了を図る。			25年度市民評価の満足度	
					【住環境の整備など】 42.10%	
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 新地地区・熊毛中央地区の精算金を		意図(どういう状態にしたい): 清算徴収金を完納させ事業を完了したい。		事業の内容 (手段)	新地地区・熊毛中央地区の精算金納付義務者の分割納付を完了させる事業。

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	精算金徴収額:3,029千円。(過年度分を含む)						項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
								直接事業費	千円	8	8	8	8	8
事業目標	目標名	精算金完納	計算式	精算金納付額/清算金総額		単位	%	(予算額) うち一財	千円	6	6	6	8	8
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	8	8		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	147,303	147,303	147,303	147,303	147,303	(決算額) うち一財	千円	7	8		増減無		
	実績値	128,954	133,595	136,624			正職員人件費	千円	879	2,219				
	達成度(%)	87.5%	90.7%	92.8%			人工数	人	0.12	0.30	0.35			
							支出コスト	千円	決) 887	決見) 2,227				
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否					
	①	土地区画整理清算事業 (経常的事務事業)	精算金の徴収	精算金を完納させ事業を完了させる。	精算金の完納	分割納付及び滞納清算金の徴収を実施、一部滞納があるが、清算業務は進んでいる。	正職員 0.3 臨時等	直接事業費 8	委託 可	臨時嘱託 否				
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 分割納付分の完納及び滞納清算金の徴収をする。					B	改善案	分割納付期限内に完納されるように徴収体制を強化する。					
	②													
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						
	④												
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価							
	細事業の課題						改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	平成16年度から清算業務が始まっており特に状況の変化はない。	前年度までの指摘事項	滞納者の徴収強化に向けて、課税課とも情報交換し滞納者に対して戸別徴収を実施する。	指摘事項に対する改善状況	滞納者の完納に向けて説得を行う。
	細事業の課題・問題点	滞納者への対応。		事業全体の課題・問題点	滞納者への対抗。	

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	滞納者に対しては、督促及び催告で納付を促して一定の成果をあげている。	改善案	滞納者の徴収強化に向けて、課税課とも情報交換し滞納者に対して戸別徴収を実施する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 清算業務の早期完了に向けて、徴収の強化を図って行く。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	600402
分野	6都市基盤
基本施策	4快適な居住環境の整備
推進施策	(2)土地区画整理事業の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
効率的な清算事務を行う。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	都市整備部区画整理課	評価者(課長)	野満 寛	評価責任者(部長)	岡村 洋道
事務事業コード	332010	事務事業名	久米中央土地区画整理事業	事業の分類	(施設等整備事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VI2 快適な都市空間で暮らせる	実施計画	○
	基本施策	VI22 快適な居住環境の整備	基本方向	地域の歴史や文化など地域特性を生かした快適で安全なまちづくりに向けて、適正な土地利用の規制・誘導や計画的な都市基盤整備を図るとともに、良好な景観の創出・保全を市民とともに推進する。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3) 土地区画整理事業の推進			【住環境の整備や土地区画整理事業の推進】	33.60%
	推進施策の展開	地区を適切に管理・整備することで、住環境の快適性と安全性の向上を図る。			25年度市民評価の満足度	
					【住環境の整備など】	42.10%
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 楡浜久米線等の都市計画道路及び区画道路や公園等の公共施設と宅地を	意図(どういう状態にしたい): 一体的整備を行うことにより、家屋の新築や交通の利便性などを高め、経済的な波及効果もたらされる様にしたい。(事業進捗率H26目標:95.6%)	事業の内容(手段)	都市計画道路及び区画道路:施工延長6,899.2m、通路:施工延長628m、公園整備:8,543㎡、宅地造成:189,197㎡、保留地:5,400㎡、事業期間:平成9年～平成28年度		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	【公共施設】都市計画道路及び区画道路:施工延長 800m(部分竣工) 【宅地造成】造成面積12,000㎡ 【移転戸数】23戸						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	1,872,366	1,701,000	896,247	412,525								
事業目標	目標名	公共用地整備率	計算式	整備面積/計画面積	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	105,166	118,600	64,747	50,825	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	1,101,169	1,117,783			対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	62.0	69.0	80.0	90.0	100.0	(決算額)	うち一財	千円	80,369	85,583		事業の進捗による移転ヶ所、工事個所減少に伴う減。	
	実績値	62.7	68.0	79.4			正職員人件費	千円	100,719	86,891				
	達成度(%)	101.1%	98.6%	99.3%			人工数	人	13.75	11.75	11.95			
							支出コスト	千円	決) 1,201,888	決見) 1,204,674				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①		工事発注管理業務 (施設等整備事業)	第一調整池に着手(H27完了予定)。公共施設と宅地の整備。	整備を進め健全で良好な市街地を造成する。	事業計画に沿った進捗を図る。	都市計画道路及び区画道路:施工延長800m、宅地造成:12,000㎡を施工。概ね計画どおり。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託		
							6.75		638,377	可	否			
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ①第一調整池の整備を完了させる。(H27完了予定) ②引き続き道路・宅地・公園等の整備の為、関係権利者との調整を図ること。 ③国の社会資本整備交付金の内示が要望どおりに付かない。				B	改善案	地権者との合意形成・関係権利者との調整を積極的に進める。予算の範囲内で効率的に工事を進める。					
②		移転補償事務 (施設等整備事業)	地権者・借家人等の関係権利者	計画に沿った移転交渉を行う。	事業計画に沿った進捗を図る。	建物移転戸数:23戸実施	4.00		478,915	否	否			
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 難航地権者の移転についての同意が取れない。				B	改善案	難航地権者と積極的に交渉し事業の早期完了を目指す。説得を継続すると共に他の手法についても検討する。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
事業を構成する細事業 【26年度実績】	③	移転補償費算定業務 (施設等整備事業)	地権者・借家人等の関係 権利者	計画に沿った算定等を行 う。	事業計画に沿った進捗を図る。	算定物件 40件実施。(H27年度概 算提示分・借家人を含む)	1.00		491	否	否			
	細事業 の 課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 移転時期に併せ効率的な建物移転補償費算定の実施。				細事業評価	B	改善案	効率的に作業を進める。					
	④													
	細事業 の 課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価		改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの 環境変化	平成9年から開始した長期の事業である。 整備が進み関係者の事業に対する理解が深まり、早期完了を望む意見 が増えてきている。 一方で少数ではあるが、未だに事業について理解いただけない方がい る。	前年度までの 指摘事項	引き続き難航地権者の説得が最大の課題である。	指摘事項に対す る改善状況	引き続き難航地権者の説得を継続すると共 にスーパーブロックの整備に着手する。
	細事業の 課題・問題点	難航地権者の説得。 スーパーブロックに着手する。		事業全体の 課題・問題点		難航地権者の説得。

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	事業効果は年々顕著に表れており、特に平成25年度に全面開通した櫛 浜久米線の事業効果は大きい。 沿線の土地利用が促進され、事業者(店舗・事業所)の進出が目立つ。	改善案	引き続き難航地権者の説得を継続すると共に他の手法の検討 をする。 スーパーブロックに着手し整備を進める。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 地元合意を積極的に図り、事業の早期完了を目指す。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	600402
分野	6都市基盤
基本施策	4快適な居住環境の整備
推進施策	(2)土地区画整理事業の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
平成27年度に事業計画の変更を予定しており、事業内容の見直しを図った。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	都市整備部区画整理課新南陽分室	評価者(課長)	伊ヶ崎 大志	評価責任者(部長)	岡村 洋道
事務事業コード	332025	事務事業名	富田西部第一土地区画整理事業	事業の分類	(施設等整備事業)
				補助・単独の別	補助
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VI2 快適な都市空間で暮らせる	実施計画	○
	基本施策	VI22 快適な居住環境の整備	基本方向	地域の歴史や文化など地域特性を生かした快適で安全なまちづくりに向けて、適正な土地利用の規制・誘導や計画的な都市基盤整備を図るとともに、良好な景観の創出・保全を市民とともに推進する。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3)土地区画整理事業の推進			【住環境の整備や土地区画整理事業の推進】 33.60%	
	推進施策の展開	施行中の事業について、市民の合意形成を図りながら計画的に推進し、早期完成に努める。道路や公園などの都市施設を適切に配置し、整備することで快適性と安全性の向上を図る。			25年度市民評価の満足度	
					【住環境の整備など】 42.10%	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 中央通り線等の都市計画道路及び区画道路や公園等の公共施設を	意図(どういう状態にしたい): 施行中の事業について、市民の合意形成を図りながら計画的に推進し、早期に完成させたい。道路や公園などの都市施設を適切に配置し、整備することで快適性と安全性の向上を図りたい。	事業の内容(手段)	【事業の内容】都市計画道路及び区画道路;施工延長6,324m、幅員6~28m、通路;施工延長557m、幅員2~4m、公園;整備面積7,060㎡、水路;施工延長334m、宅地造成面積;157,193㎡、保留地;1,500㎡、事業期間;平成5年度~平成28年度		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	都市計画道路及び区画道路:施行延長1,000m 宅地造成:5,800㎡、 建物移転8戸、建物調査委託等3件						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費		千円	504,779	575,000	555,046		164,626						
事業目標	目標名	公共用地整備率	計算式	整備面積/計画面積	単位	%	(予算額)	うち一財	千円	31,279	66,000	47,546	60,876	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	577,342	361,799		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	57.4	65.5	87.1	88.3	100.0	(決算額)	うち一財	千円	31,542	50,916	実施計画の事業費を見込むため		
	実績値	46.6	67.7	74.5			正職員人件費	千円	46,587	36,236				
	達成度(%)	81.2%	103.4%	85.5%			人工数	人	6.36	4.90	6.15			
							支出コスト	千円	決) 623,929	決見) 398,035				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①		工事発注管理業務 (施設等整備事業)	中溝線等の都市計画道路及び区画道路や公園等の公共施設と宅地等	一体的な整備を図り、健全で良好な市街地を整備する。	事業計画に沿った進捗を図る。 都市計画道路及び区画道路:施行延長1,000m、宅地造成:5,800㎡を実施。概ね計画のとおり施行。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	可	否	
			□ 妥当性 □ 有効性 ■ 効率性 □ コスト □ その他		細事業評価									
	課題		①主要都市計画道路、中溝線等の整備を行ったが、引き続き道路・宅地・河川等の整備の為、関係権利者との調整を図ること。 ②国の社会資本整備交付金の内示が要望どおりに付かない。											
②		移転補償事務 (施設等整備事業)	地権者・借家人等の関係権利者。	計画に沿った移転交渉を行う。	事業計画に沿った進捗を図る。 建物移転戸数:8戸実施した。	2.0		237,651			否	否		
課題		□ 妥当性 □ 有効性 ■ 効率性 □ コスト □ その他												
		難航地権者の移転についての同意が取れない。												
						B	改善案	難航地権者に積極的に交渉し事業の早期完成を目指す。任意交渉を継続すると共に、その他の方法についても検討する。						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
							正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
事業を構成する細事業 【26年度実績】	③	業務委託	地権者	計画に沿った建物調査等を行う。	事業計画に沿った進捗を図る。	建物調査戸数:3件 実施した。	0.7		1,474	可	否		
		(施設等整備事業)											
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
		国の社会資本整備交付金の内示が要望通りに付かない。					B	改善案	予算の範囲内で効率的に進捗を図る。				
	④												
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						
							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	事業開始が、平成5年度で長期間の事業である。事業も地権者に浸透してきたが、未だに事業についてご理解いただけない方がいる。	前年度までの指摘事項	事業進捗が遅れている。積極的な対応により関係者の理解を得ながら、効率的な実施に努められたい。	指摘事項に対する改善状況	難航地権者と積極的に交渉を継続するとともに、その他の手法についても検討する。
	細事業の課題・問題点	現時点においても事業についてご理解いただけない方がいる。		事業全体の課題・問題点		事業の進捗が少し遅れている。また、現時点においても事業についてご理解いただけない方がいる。

所管課評価						
評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	現時点においても事業についてご理解いただけない方がおり事業の進捗が遅れているため。	改善案	難航地権者と積極的に交渉を継続するとともに、その他の手法についても検討する。

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	B 地元合意を積極的に図り、事業の早期完了を目指す。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	600402
分野	6都市基盤
基本施策	4快適な居住環境の整備
推進施策	(2)土地区画整理事業の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
平成27年度に事業計画の変更を予定しており、事業内容の見直しを図った。

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	都市整備部 区画整理課 新南陽分室	評価者(課長)	伊ヶ崎 大志	評価責任者(部長)	岡村 洋道
事務事業コード	333002	事務事業名	新南陽駅周辺地区都市再生整備計画事業	事業の分類	(施設等整備事業) 補助・単独の別 補助 会計名 01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	VI 都市基盤	節(まちの姿)	VI2 快適な都市空間で暮らせる	実施計画	○
	基本施策	VI22 快適な居住環境の整備	基本方向	地域の歴史や文化など地域特性を生かした快適で安全なまちづくりに向けて、適正な土地利用の規制・誘導や計画的な都市基盤整備を図るとともに、良好な景観の創出・保全を市民とともに推進する。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(3)土地区画整理事業の推進			【住環境の整備や土地区画整理事業の推進】 33.60%	
	推進施策の展開	施行中の事業について、市民の合意形成を図りながら計画的に推進し、早期完成に努める。道路や公園などの都市施設を適切に配置し、整備することで快適性と安全性の向上を図る。			25年度市民評価の満足度	
					【住環境の整備など】 42.10%	
事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 宮の前線を	意図(どういう状態にしたい): 高質空間整備し、地域拠点都市としてふさわしい景観を形成したい。	事業の内容(手段)	【事業の内容】宮の前線;施工延長260m、幅員21m、面積5,460㎡、事業期間:平成26年度		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	都市計画道路宮の前線:施行延長260m、幅員21m 面積5,460㎡ カラー舗装、照明施設、植栽、モニュメント等 (一部次年度に繰り越したが全て完成し事業は完了している)						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円		80,000										
事業目標	目標名	公共用地整備率	計算式	整備面積/計画面積	単位	%	(予算額)	うち一財	千円		4,100			
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円		12,600		対27年度増減理由	対28年度増減理由	
	目標値	57.4	65.5	87.1	88.3	100.0	(決算額)	うち一財	千円		640	事業完了による		
	実績値	46.6	67.7	74.5			正職員人件費	千円		0	4,437			
	達成度(%)	81.2%	103.4%	85.5%			人工数	人		0.00	0.60	0.00		
							支出コスト	千円		決)0	決見)17,037			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①		工事発注管理業務 (施設等整備事業)	宮の前線	高質空間整備し、地域拠点都市としてふさわしい景観形成する。	都市再生整備計画に沿った進捗を図る。 都市計画道路宮の前線:施行延長260m、を実施。概ね計画のとおり施行。	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	可	否	
	②						0.6		12,600					
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 ①整備された宮の前線の高質空間を、地元と協同で適切な維持管理を行い地域活力の向上を図る。				B	改善案	①地権者との合意形成を図りながら整備を行った。					
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
	④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	新南陽駅周辺地区都市再生整備計画の関連事業として平成26年度の事業として行った。	前年度までの指摘事項	なし	指摘事項に対する改善状況	なし
	細事業の課題・問題点	適切な維持管理を行い地域の活性化を図る。		事業全体の課題・問題点	高質空間整備により地域の活性化を図る。	

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	予算の範囲内で計画通り整備が行われ、歴史ある景観が整備できた。	改善案	今後の適切な維持管理が必要である。
----	---	--	------	---------------------------------	-----	-------------------

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	土地利用増進に繋がる整備が出来た。
----	---	-------------------

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	600402
分野	6都市基盤
基本施策	4快適な居住環境の整備
推進施策	(2)土地区画整理事業の推進

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)	

備考

備考	